

# 大久保小学校女児殺傷事件について



吉原 信雄議員

6月1日に佐世保市立大久保小学校の校舎内で、小学校6年生の女子児童が、同級生に命を奪われるという事件が発生した。今回のこの事件は、教育関係者に大きな衝撃を与えたが、本町においては、心の教育・命の大切さをどのように子どもたちに伝え、教育していくのか。

## 一層の指導の充実をはかる

教育長

心の教育の核となるのは、道徳教育の充実であり、毎年34〜35時間をあてている。また、研究会等を実施し、教員の指導力

の向上をはかっている。思

春期特有の心理状態等への対応については、「心の教室相談員」を配置し、精神的・身体的な発達に対応した対応がなされるよう指導している。今後も、児童生徒に思いやりの心や、感動する心など、豊かな人間性が培われるよう一層の指導の充実をはかる。

## 各学校におけるパソコン室の開放状況は

吉原議員

今回のこの事件は、インターネットのホームページへの書き込みトラブルが、引き金になっている。本町においても、各小中学校にパソコンが整備され、授業等に活用されているが、昼休み時間・放課後等におけるパソコン室の開放状況はどうなっ

ているのか。

## 開放していない学校が2校

教育長

インターネットに接続している児童生徒用のパソコンは、小中学校合わせて、219台ある。パソコン室の開放状況は、開放している学校が3校、児童生徒等の要望があれば開放している学校が5校、開放していない学校が2校となっている。

## パソコン指導の中にモラルに関する指導は

吉原議員

パソコンやインターネット等、ルールやマナーといった使用する際のモラルの教育が必要だと思われる。学校でのパソコン指導の中にモラルに関する

指導がされているのか。また、指導がされているとすれば、どんな内容か。

## 指導計画を整備する

教育長

モラルの指導については、計画的に指導している学校が2校、今後指導計画を整備する必要があるとしている学校が6校ある。指導については、学校の創意の時間において、インターネットを使用する際のルールやマナーについて指導している。

## 危機管理システムの現状は

吉原議員

大阪教育大学附属池田小学校での児童等死傷事件のあと、危機管理マニュアルなど作成され、それぞれの学校で対策がなされていると思うが、その後、町内小中学校における危機管理に対する現状と取り組みはどうなっているのか。

## マニュアルの徹底をさらに進める

教育長

現在、各学校とも危機管理の体制を整え、様々な危機に対応すべく、マニュアルを作成し、職員の相互理解をはかっているが、これまで発生した事件を自分たちの現場に置き換え、作成したマニュアルの徹底をさらに進める。

## 町内小中学校のフェンスの現状は

吉原議員

町内小中学校のフェンスの状況を知るために、町内各小学校を回って見たが、このフェンスの現状をどのように考えているのか。

## 不備な学校もある

教育長

町内小中学校において、フェンスが設置されていない箇所や、腐つて用をなさない箇所等ある。今後、関

係部局と協議し対応していきたい。

## 町長公用車の廃止について

吉原議員

現在ある町長公用車は、平成3年の購入であり、14万5千キロの走行距離となっている。3月に車検を受けたばかりで、まだまだ乗れる車ではあるが、将来、町長公用車を買換える時期がきたときは、購入せず、町長公用車を廃止するつもりはないか。

## 町長公用車としては廃止する

町長

経費節減となれば、町長公用車の廃止は、考えていくべきである。次の車検までは、そのまま一般の公用車として、職員にも使用してもらい、その後、廃車する方向で考えたい。